新病院 千床規模 矢巾移転の岩手医大 発行人 現在地は50床に

E-mail:info@keiryokai.gr.jp

岩手日報 H24. 12. 20

岩 手 医 大 トランド 大 中 移転の

18年度の 開院目標

至国道4号

ついて、小児・周産期 新付属病院の病床数に 盛岡市内丸から矢巾町 事長)は19日、現在の 滕沢に移転・開院する 救急部門を一体化さ一のメディカルセンター 岩手医大(小川彰理 る方針を明らかにし 中心で歯科医療センタ た。同市内丸には外来 |を備えた千床規模とす|2018年度の開院を| ーを併設する50床規模 | うだ。 せた統合医療センター 目指す。現付属病院は 解体するが、跡地活用 |を整備。 両施設ともに | センター施設と解体後 が今後の課題になりそ 現付属病院は116 する。 一の27医科診療科(消化 の歯学部エリアを活用 ど)のほか循環器医療 器・肝臓内科、外科な 新病院には従来通り

第27号内容

両施設を効率運用する 00床、内丸センター 6床。 当初は新病院8 たが、医師不足の中で 250床を想定してい ため新病院干床、同セ ンター50床とした。 センターの5診療科、

幅も検討。内丸センタ てとし、周辺道路の拡 新病院は12、13階建 センターとして一体整 ンターなどを統合医療 U)、高度救命救急セ 児集中治療室(NIC 母体胎児集中治療室 の口腔外科を設置予 入院を要する歯科診療 定。現病院に点在する (MFICU) と新生

備し、機能連携を図る。 一討する方針だ。 は維持する考えだが、 約500人の人員体制 ターと連携する。 状況に応じた増員も検 職員約3千人と医師 題だ。 う跡地活用が今後の課 ほか現病院の解体に伴 れで賄う。資金確保の

は現行の循環器医療

け、50床は検査入院な 歯科診療科などを設 医科診療科の大半と10 内丸センターには27 転の総事業費は約55 着工を目指す。病院移 ンターともに15年度の

新付属病院、内丸セ

矢巾東小 新付属病院 移転用地 18万6千m² 矢巾町 病院施設 矢幅駅 予定地 不来方高 矢巾SC JR 講義実習棟 東北線 など 12万m² 学生寮など 6万2千m²

岩手医大付属病院の移転地

していかなければな 内外の病院と連携も の中核病院として県 療を提供し、地域医療 事長は「県民に高度医 記者会見した小川理

圭陵会FAXニュース

圭陵会ホームページよりPDF形式でダウンロード頂けます。 ■圭陵会ホームページアドレス http://www.keiryokai.gr.jp

どで活用。がん診断と

0億円で、県から6億 円程度の補助を見込む

ニアック先端医療セン 治療を担うPET・リ

ほか自己資金や借り入